

# 景況調査 結果報告 Vol. 15～アンケート期間 R2. 1月-3月～

今回、第15回目となる景況調査の報告をします。今回は「業況」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

## 景況調査（業況判断DI結果）全国版

	10-12月	1-3月	前期差
製造業	▲22.4	▲27.4	▲5.0
建設業	▲5.5	▲8.3	▲2.8
卸売業	▲22.7	▲28.5	▲5.8
小売業	▲33.1	▲31.9	1.2
サービス業	▲17.3	▲22.5	▲5.2

## 景況調査（業況DI結果）鳥栖版

	10-12月	1-3月	前期差
製造業	▲25.0	0	25.0
建設業	▲50.0	▲40.0	10.0
卸売業	▲33.3	▲66.7	▲33.4
小売業	▲33.3	▲50.0	▲16.7
サービス業	▲22.2	▲42.9	▲20.7

### 注目ポイント

全産業の業況DI値は5期連続してマイナス幅が拡大しました。製造業では7期連続してマイナス幅が拡大しています。

### 注目ポイント

製造業は前期よりDI値が改善しています。卸売業・小売業・サービス業はDI値のマイナス幅が増大しています。

### 景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 令和2年1月～3月
  - ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 30事業所
  - ◆業種 製造5、建設5、卸売3、小売7  
サービス10 計30事業所
- ※小規模事業とは、商業・サービス業では 従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

### DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

**DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)**

《経営力アップのために！！》

当所HPに「今すぐ始めるべき5つの行動」というテーマで【商業界2020年5月号】を参照記事として掲載しております。5つの行動指針より経営改善のヒントが見つかるかもしれません。是非ご覧いただき、ご参考にいただければ幸いです！

